

MOT インストラクション認定研修
コース設計書

名 称	MOT インストラクション認定研修
担当講師	MOT インストラクション認定講師：島村正人
時 間	7時間×2日間 1日目 10：00～18：00 2日目 10：00～18：00
対 象 者	MOT 取得希望者の方 または MOT 更新者の方
当該受講者のスキル	・ MCAS(Microsoft Certified Application Specialist)該当アプリケーション、合格済み ・ MOT2007 スキル認定研修、合格済み
研修の目的	MOT に必要なインストラクションスキルを習得する

事前学習

目 標	新しいMOTに必要なスキルの「基本」を理解する。
内 容	・ 事前学習でテキストを熟読し、 新しいMOTに必要なスキルの基本を理解する ・ 事前学習でテキストのミニ演習を行う ・ MOT 取得後、MOT としてどのような活動をしていきたいかのレポートを提出する ・ 提出課題の箇所を把握してストーリーボードの素案を考え、練習しておく ・ Media エンコーダの操作方法を確認しておく
評 価	ミニ演習・MOT としてどのような活動をしていきたいかをまとめたレポートを提出することで、達成とする。

研修内容	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ MOTに必要なインストラクションスキルの「基本」を、課題に実装できる ・ MOTに必要なインストラクションスキルを実務に実装する必要性が理解できる
研修1日目	<ul style="list-style-type: none"> ①インストラクション認定研修テキストを使って、MOTとして必要な知識を習得し、それを実践するための方法を考える ②新MOT制度のインストラクションに必要なスキルを、模擬授業から考える ③事前に考えてきた課題範囲のストーリーボードを修正し、ファシリテーションをどのように実装するかをレポートにす ④上記をもとにビデオを収録する ⑤各自のビデオを見ながら、他の受講者の感想、自己評価および講師の評価をもとに振り返りを行う ⑥上記を自分の言葉でまとめ、各自の課題にファシリテーションスキルを実装するような改善案を出せる
自宅学習	1日目の終了後、自宅または宿泊先にて2日目に向けてストーリーボードの修正とインストラクションの練習を行う
研修2日目	<ul style="list-style-type: none"> ①1日目を踏まえてエンコーダ収録を実施する ②講師評価から改善点を把握する ③講義とディスカッションを通し、ファシリテーションを提出課題（成果物）と実務で実装するにはどうしたらいいかを意見交換し、理解を深める ④ディスカッションを通し、各自の講習がファシリテーションスキルを実装できるような改善案をパワーポイントにまとめる ⑤ファシリテーションを提出課題（成果物）と実務で実装するにはどうしたらいいかを自分の言葉で発表する
評 価	2日間を通して合格レベルに近いストーリーボード作成とエンコーダ収録ができ、実務への実装の必要性を理解したことで達成とする

事後学習	
目 標	合格レベルの提出課題（成果物）を作成することができる
内 容	事前学習と研修で学んで習得したことを実装した課題を作成し、提出する
評 価	提出課題（成果物）が合格レベルに達したことで達成とする
最終評価	提出課題（成果物）の評価が"C"以上である。

研修詳細	
形 態	最大 6 名の集合研修
機 材	受講者は一人一台の PC を使い、講師用 PC の画面をプロジェクターに投影する
環 境	Excel2003 or 2007、Windows Media エンコーダ 9 がインストールされており動作すること
スタッフ	メイン講師一名